

【2022 N21～N22 日本文化学科 カリキュラムマップ】

授業科目	<p>文学部日本文化学科は、本学科の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を充たすとともに、歴史・民俗、文学・芸術にわたる日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い認識とを有し、それを地域の文化や現代社会に生かしてゆける、以下の知識・能力・資質等を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与します。そのために、本学科のアセスメントプラン(アセスメント・ポリシー)を策定します。</p> <p>1. &lt;専門的知識と技能&gt; 日本文化について、幅広い専門的知識を修得し、課題に応じて適切に情報を収集分析し、本学科の各基幹分野の研究方法を応用して解明することができる。</p> <p>2. &lt;知識や技能の活用&gt; 変化する社会状況に応じて、日本文化に関する深い見識や修得した研究能力、表現・発信力を生かして、社会や地域に関する諸問題について自らの見解を持ち、他者に適確に伝えることができる。</p> <p>3. &lt;主体的な意識と態度&gt; 日本文化を深く理解し、文化の力を通して地域や社会に貢献することを目指す者として、自らの目標をもち、その実現のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>4. &lt;多様なコミュニケーション&gt; 国際的視野に立った豊かな教養と日本文化に関する深い見識に基づき、文化・社会的背景の異なる多様な人々について相手の立場に立って理解し、配慮しながら、精確な表現力を用いて協働することができる。</p> <p>5. &lt;社会人としての自立&gt; 社会人としての責任感をもち、地域や社会の動向をふまえて現場で必要とされる実践力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。</p>				
	1	2	3	4	5
専門基礎科目	基礎演習A	◎		○	
	基礎演習B	◎		○	
	奈良学A	◎		○	
	奈良学B	◎		○	
	日本文化演習A	○	◎	○	○
	日本文化演習B	○	◎	○	○
	日本史概論A	◎		○	
	日本史概論B	◎		○	
	日本文化史概論	◎		○	
	日本考古学概論	◎		○	
	日本美術史概論	◎		○	
	日本民俗学概論	◎		○	
	日本演劇概論	◎		○	
	日本文学概論A	◎		○	
	日本文学概論B	◎		○	
	日本文学史1A(上代・中古文学)	◎		○	
	日本文学史2A(近代文学)	◎		○	
	地域文化概論	◎		○	
	文化発信概論	◎		○	
	学外実習	◎		○	
歴史・文化財系	古文書基礎実習	○	◎	○	○
	古文書実習	○	◎	○	○
	日本史研究	○	◎	○	○
	考古学実習A	○	◎	○	○
	考古学実習B	○	◎	○	○
	民俗学実習A	○	◎	○	○
	民俗学実習B	○	◎	○	○
	美術史実習A	○	◎	○	○
	美術史実習B	○	◎	○	○
	民俗学A	◎	○	○	
	民俗学B	◎	○	○	
	民俗学C	◎	○	○	
	民俗学D	◎	○	○	
	考古学A	◎	○	○	
	考古学B	◎	○	○	
	考古学C	◎	○	○	
	考古学D	◎	○	○	
	美術史A	◎	○	○	
	美術史B	◎	○	○	
	美術史C	◎	○	○	
	美術史D	◎	○	○	
	古代史A	◎	○	○	
	古代史B	◎	○	○	
	中世史A	◎	○	○	
	中世史B	◎	○	○	
	近世史A	◎	○	○	
	近世史B	◎	○	○	
	近・現代史A	◎	○	○	
	近・現代史B	◎	○	○	
	日本語文法入門A	◎		○	
	日本語文法入門B	◎		○	

日本文化専門科目	文学・表現系	日本文学史1B(中世・近世文学)	◎		○		
		日本文学史2B(近現代文学)	◎		○		
		日本語概説A	◎		○		
		日本語概説B	◎		○		
		日本語表現論A	◎	○	○		
		日本語表現論B	◎	○	○		
		表現文法論A	◎	○	○		
		表現文法論B	◎	○	○		
		日本語史A	◎	○	○		
		日本語史B	◎	○	○		
		日本文学特講1A(中古文学)	◎	○	○		
		日本文学特講1B(中古文学)	◎	○	○		
		日本文学特講2A(中世文学)	◎	○	○		
		日本文学特講2B(中世文学)	◎	○	○		
		日本文学特講3A(近現代文学)	◎	○	○		
		日本文学特講3B(近現代文学)	◎	○	○		
		日本文学特講4A(上代文学)	◎	○	○		
		日本文学特講4B(近現代文学)	◎	○	○		
		日本演劇特講A	◎	○	○		
		日本演劇特講B	◎	○	○		
		文章表現実習A(基礎)		○	○	◎	
		文章表現実習B(応用)		○	○	◎	○
		日本文学講読A	○	◎	○	○	
		日本文学講読B	○	◎	○	○	
		日本文学研究1	○	◎	○	○	○
日本文学研究2	○	◎	○	○	○		
地域文化発信系	地域文化A(奈良の文化遺産)	◎	○	○			
	地域文化B(奈良の伝統芸能)	◎	○	○			
	地域文化C(奈良の伝統産業)	◎	○	○			
	地域文化D(奈良の観光)	◎	○	○			
	地域文化特講A(地域とメディア)	◎	○	○			
	地域文化特講B(地域と行政)	◎	○	○			
	文化発信A(フィールドワークの方法)	◎	○	○			
	文化発信B(現代アジアの文化と社会)	◎	○	○			
	文化発信C(異文化コミュニケーション)	◎	○	○			
	文化発信D(グローバル・スタディ)	◎	○	○			
	文化発信特講A(メディアと情報発信)	◎	○	○			
	文化発信特講B(地域デザイン)	◎	○	○			
	地域文化実習A	○	◎	○	○	○	
	地域文化実習B	○	◎	○	○	○	
	文化発信実習A	○	◎	○	○	○	
文化発信実習B	○	◎	○	○	○		
	日本文化への多角的アプローチ	◎		○			
	文学部の学びと将来設計		○		◎	○	
	アナウンサーに学ぶ自己演出法1				◎	○	
	アナウンサーに学ぶ自己演出法2				◎	○	
	人文地理学概説	○		◎			
	人文地理学研究	○		◎			
	自然地理A	○		◎			
	自然地理B	○		◎			
	日本地誌A	○		◎			
	日本地誌B	○		◎			
	世界地誌A	○		◎			
	世界地誌B	○		◎			

専門 関連 科目 目 系	地誌学	○		◎			
	東洋史A	○		◎			
	東洋史B	○		◎			
	西洋史概説A	○		◎			
	西洋史概説B	○		◎			
	哲学概説A	○		◎			
	哲学概説B	○		◎			
	仏教文化論		○	◎			
	生涯学習概論	○		◎			
	博物館概論	○		◎			
	博物館資料論	○		◎			
	博物館展示論		○	◎			
	漢文概説	○		◎			
	漢文研究		○	◎			
	書道A	○		◎			
	書道B	○		◎			
	図書館概論	○		◎			
	図書館情報資源概論	○		◎			
	図書館情報資源特論	○		◎			
	法学A	○		◎			
	法学B	○		◎			
	日本国憲法A	○		◎			
	日本国憲法B	○		◎			
	政治学A	○		◎			
	政治学B	○		◎			
	経済学A	○		◎			
	経済学B	○		◎			
	社会学A	○		◎			
	社会学B	○		◎			
	ナ ゼ ミ ナ ー ル	ゼミナールⅠ	○	◎	○	○	○
		ゼミナールⅡ(卒業研究)	○	○	○	○	◎

【2022 N18～N20 日本文化学科 カリキュラムマップ】

授業科目	<p>文学部日本文化学科は、本学科の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を充たすとともに、歴史・民俗、文学・芸術にわたる日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い認識とを有し、それを地域の文化や現代社会に生かしてゆける、以下の知識・能力・資質等を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与します。そのために、本学科のアセスメントプラン(アセスメント・ポリシー)を策定します。</p> <p>1. &lt;専門的知識と技能&gt; 日本文化について、幅広い専門的知識を修得し、課題に応じて適切に情報を収集分析し、本学科の各基幹分野の研究方法を応用して解明することができる。</p> <p>2. &lt;知識や技能の活用&gt; 変化する社会状況に応じて、日本文化に関する深い見識や修得した研究能力、表現・発信力を生かして、社会や地域に関する諸問題について自らの見解を持ち、他者に適確に伝えることができる。</p> <p>3. &lt;主体的な意識と態度&gt; 日本文化を深く理解し、文化の力を通して地域や社会に貢献することを目指す者として、自らの目標をもち、その実現のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>4. &lt;多様なコミュニケーション&gt; 国際的視野に立った豊かな教養と日本文化に関する深い見識に基づき、文化・社会的背景の異なる多様な人々について相手の立場に立って理解し、配慮しながら、精確な表現力を用いて協働することができる。</p> <p>5. &lt;社会人としての自立&gt; 社会人としての責任感をもち、地域や社会の動向をふまえて現場で必要とされる実践力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。</p>				
	1	2	3	4	5
専門基礎科目	基礎演習A	◎		○	○
	基礎演習B	◎		○	○
	奈良学A	◎		○	
	奈良学B	◎		○	
	日本文化演習A	○	◎	○	○
	日本文化演習B	○	◎	○	○
	日本史概論A	◎		○	
	日本史概論B	◎		○	
	日本文化史概論	◎		○	
	日本考古学概論	◎		○	
	日本美術史概論	◎		○	
	日本民俗学概論	◎		○	
	日本演劇概論	◎		○	
	日本文学概論A	◎		○	
	日本文学概論B	◎		○	
	日本文学史1A(上代・中古文学)	◎		○	
	日本文学史2A(近代文学)	◎		○	
	文化創造概論A(地域文化)	◎		○	
	文化創造概論B(文化発信)	◎		○	
	学外実習	◎		○	
歴史・文化財系	古文書基礎実習	○	◎	○	○
	古文書実習	○	◎	○	○
	日本史研究	○	◎	○	○
	考古学実習A	○	◎	○	○
	考古学実習B	○	◎	○	○
	民俗学実習A	○	◎	○	○
	民俗学実習B	○	◎	○	○
	美術史実習A	○	◎	○	○
	美術史実習B	○	◎	○	○
	民俗学A	◎	○	○	
	民俗学B	◎	○	○	
	民俗学C	◎	○	○	
	民俗学D	◎	○	○	
	考古学A	◎	○	○	
	考古学B	◎	○	○	
	考古学C	◎	○	○	
	考古学D	◎	○	○	
	美術史A	◎	○	○	
	美術史B	◎	○	○	
	美術史C	◎	○	○	
	美術史D	◎	○	○	
	古代史A	◎	○	○	
	古代史B	◎	○	○	
	中世史A	◎	○	○	
	中世史B	◎	○	○	
	近世史A	◎	○	○	
	近世史B	◎	○	○	
	近・現代史A	◎	○	○	
	近・現代史B	◎	○	○	
	日本語文法入門A	◎		○	
	日本語文法入門B	◎		○	

日本文化専門科目	文学・表現系	日本文学史1B(中世・近世文学)	◎		○		
		日本文学史2B(近現代文学)	◎		○		
		日本語概説A	◎		○		
		日本語概説B	◎		○		
		日本語表現論A	◎	○	○		
		日本語表現論B	◎	○	○		
		表現文法論A	◎	○	○		
		表現文法論B	◎	○	○		
		日本語史A	◎	○	○		
		日本語史B	◎	○	○		
		日本文学特講1A(中古文学)	◎	○	○		
		日本文学特講1B(中古文学)	◎	○	○		
		日本文学特講2A(中世文学)	◎	○	○		
		日本文学特講2B(中世文学)	◎	○	○		
		日本文学特講3A(近現代文学)	◎	○	○		
		日本文学特講3B(近現代文学)	◎	○	○		
		日本文学特講4A(上代文学)	◎	○	○		
		日本文学特講4B(近現代文学)	◎	○	○		
		日本演劇特講A	◎	○	○		
		日本演劇特講B	◎	○	○		
		文章表現実習A(基礎)		○	○	◎	
		文章表現実習B(応用)		○	○	◎	○
		日本文学講読A	○	◎	○	○	
		日本文学講読B	○	◎	○	○	
		日本文学研究1	○	◎	○	○	○
日本文学研究2	○	◎	○	○	○		
文化創造系		地域文化A(奈良の文化遺産)	◎	○	○		
		地域文化B(奈良の伝統芸能)	◎	○	○		
		地域文化C(奈良の伝統産業)	◎	○	○		
		地域文化D(奈良の観光)	◎	○	○		
		地域文化特講A(地域とメディア)	◎	○	○		
		地域文化特講B(地域と行政)	◎	○	○		
		文化発信A(フィールドワークの方法)	◎	○	○		
		文化発信B(現代アジアの文化と社会)	◎	○	○		
		文化発信C(異文化コミュニケーション)	◎	○	○		
		文化発信D(グローバル・スタディ)	◎	○	○		
		文化発信特講A(メディアと情報発信)	◎	○	○		
		文化発信特講B(地域デザイン)	◎	○	○		
		地域文化実習A	○	◎	○	○	○
		地域文化実習B	○	◎	○	○	○
		文化発信実習A	○	◎	○	○	○
		文化発信実習B	○	◎	○	○	○
				日本文化への多角的アプローチ	◎		○
文学部の学びと将来設計				○		◎	○
アナウンサーに学ぶ自己演出法1						◎	○
アナウンサーに学ぶ自己演出法2						◎	○
人文地理学概説	○				◎		
人文地理学研究	○				◎		
自然地理A	○				◎		
自然地理B	○				◎		
日本地誌A	○				◎		
日本地誌B	○				◎		
世界地誌A	○				◎		
世界地誌B	○				◎		

専門 関連 科目 目 系	地誌学	○		◎			
	東洋史A	○		◎			
	東洋史B	○		◎			
	西洋史概説A	○		◎			
	西洋史概説B	○		◎			
	哲学概説A	○		◎			
	哲学概説B	○		◎			
	仏教文化論		○	◎			
	生涯学習概論	○		◎			
	博物館概論	○		◎			
	博物館資料論	○		◎			
	博物館展示論		○	◎			
	漢文概説	○		◎			
	漢文研究		○	◎			
	書道A	○		◎			
	書道B	○		◎			
	図書館概論	○		◎			
	図書館情報資源概論	○		◎			
	図書館情報資源特論	○		◎			
	法学A	○		◎			
	法学B	○		◎			
	日本国憲法A	○		◎			
	日本国憲法B	○		◎			
	政治学A	○		◎			
	政治学B	○		◎			
	経済学A	○		◎			
	経済学B	○		◎			
	社会学A	○		◎			
	社会学B	○		◎			
	ナ ゼ ミ ナ ー ル	ゼミナールⅠ	○	◎	○	○	○
		ゼミナールⅡ(卒業研究)	○	○	○	○	◎

## 【2022 日本文学学科 司書 カリキュラムマップ】

授業科目	<p>文学部日本文学学科は、本学科の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を充たすとともに、歴史・民俗、文学・芸術にわたる日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い認識とを有し、それを地域の文化や現代社会に生かしてゆける、以下の知識・能力・資質等を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与します。そのために、本学科のアセスメントプラン(アセスメント・ポリシー)を策定します。</p> <p>1. &lt;専門的知識と技能&gt; 日本文化について、幅広い専門的知識を修得し、課題に応じて適切に情報を収集分析し、本学科の各基幹分野の研究方法を応用して解明することができる。</p> <p>2. &lt;知識や技能の活用&gt; 変化する社会状況に応じて、日本文化に関する深い見識や修得した研究能力、表現・発信力を生かして、社会や地域に関する諸問題について自らの見解を持ち、他者に適確に伝えることができる。</p> <p>3. &lt;主体的な意識と態度&gt; 日本文化を深く理解し、文化の力を通して地域や社会に貢献することを目指す者として、自らの目標をもち、その実現のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>4. &lt;多様なコミュニケーション&gt; 国際的視野に立った豊かな教養と日本文化に関する深い見識に基づき、文化・社会的背景の異なる多様な人々について相手の立場に立って理解し、配慮しながら、精確な表現力を用いて協働することができる。</p> <p>5. &lt;社会人としての自立&gt; 社会人としての責任感をもち、地域や社会の動向をふまえて現場で必要とされる実践力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。</p>				
	1	2	3	4	5
生涯学習概論	○		◎		
図書館概論	○		◎		
図書館サービス概論	○	○	◎		
図書館制度・経営論		○	◎		
情報サービス論	○		◎		
情報サービス演習A		○	◎	○	
情報サービス演習B		○	◎	○	
図書館情報技術論	○		◎		
図書館情報資源概論	○		◎		
情報資源組織論		○	◎	○	
情報資源組織演習A		○	◎	○	
情報資源組織演習B		○	◎	○	
児童サービス論		○	◎	○	
図書・図書館史	○		◎		
図書館情報資源特論	○		◎		
図書館基礎特論	○		◎		

## 【2022 日本文化学科 学芸員 カリキュラムマップ】

授業科目	<p>文学部日本文化学科は、本学科の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を充たすとともに、歴史・民俗、文学・芸術にわたる日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い認識とを有し、それを地域の文化や現代社会に生かしてゆける、以下の知識・能力・資質等を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与します。そのために、本学科のアセスメントプラン(アセスメント・ポリシー)を策定します。</p> <p>1. &lt;専門的知識と技能&gt; 日本文化について、幅広い専門的知識を修得し、課題に応じて適切に情報を収集分析し、本学科の各基幹分野の研究方法を応用して解明することができる。</p> <p>2. &lt;知識や技能の活用&gt; 変化する社会状況に応じて、日本文化に関する深い見識や修得した研究能力、表現・発信力を生かして、社会や地域に関する諸問題について自らの見解を持ち、他者に適確に伝えることができる。</p> <p>3. &lt;主体的な意識と態度&gt; 日本文化を深く理解し、文化の力を通して地域や社会に貢献することを目指す者として、自らの目標をもち、その実現のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>4. &lt;多様なコミュニケーション&gt; 国際的視野に立った豊かな教養と日本文化に関する深い見識に基づき、文化・社会的背景の異なる多様な人々について相手の立場に立って理解し、配慮しながら、精確な表現力を用いて協働することができる。</p> <p>5. &lt;社会人としての自立&gt; 社会人としての責任感をもち、地域や社会の動向をふまえて現場で必要とされる実践力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。</p>				
	1	2	3	4	5
生涯学習概論	○		◎		
博物館概論	○		◎		
博物館経営論		○	◎		
博物館資料論	○		◎		
博物館資料保存論		○	◎	○	
博物館展示論		○	◎	○	
博物館教育論	○		◎		
博物館情報・メディア論		○	◎		
博物館実習Ⅰ		○		◎	○
博物館実習Ⅱ		○		○	◎



## 【2022 日本文化学科 日本語教員養成プログラム カリキュラムマップ】

授業科目			<p>文学部日本文化学科は、本学科の課程を修め、所定の単位の修得と必修等の条件を充たすとともに、歴史・民俗、文学・芸術にわたる日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い認識とを有し、それを地域の文化や現代社会に生かしてゆける、以下の知識・能力・資質等を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与します。そのために、本学科のアセスメントプラン(アセスメント・ポリシー)を策定します。</p> <p>1. &lt;専門的知識と技能&gt; 日本文化について、幅広い専門的知識を修得し、課題に応じて適切に情報を収集分析し、本学科の各基幹分野の研究方法を応用して解明することができる。</p> <p>2. &lt;知識や技能の活用&gt; 変化する社会状況に応じて、日本文化に関する深い見識や修得した研究能力、表現・発信力を生かして、社会や地域に関する諸問題について自らの見解を持ち、他者に適確に伝えることができる。</p> <p>3. &lt;主体的な意識と態度&gt; 日本文化を深く理解し、文化の力を通して地域や社会に貢献することを目指す者として、自らの目標をもち、その実現のために主体的に学ぶことができる。</p> <p>4. &lt;多様なコミュニケーション&gt; 国際的視野に立った豊かな教養と日本文化に関する深い見識に基づき、文化・社会的背景の異なる多様な人々について相手の立場に立って理解し、配慮しながら、精確な表現力を用いて協働することができる。</p> <p>5. &lt;社会人としての自立&gt; 社会人としての責任感をもち、地域や社会の動向をふまえて現場で必要とされる実践力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。</p>				
			1	2	3	4	5
社会・文化・地域	世界と日本	日本文学概論A	◎	○			
		日本文学概論B	◎	○			
		日本史概論A	◎	○			
		日本史概論B	◎	○			
		日本文化史概論	◎	○			
		地域文化概論	◎	○			
		文化発信概論	◎	○			
	異文化接触	文化発信B(現代アジアの文化と社会)			○	◎	
言語と社会	言語と社会の関係	教育社会学			○		◎
	言語使用と社会	ことばと異文化交流(日本語教育事情)			○	◎	
	異文化コミュニケーションと社会	文化発信C(異文化コミュニケーション)			○	◎	
言語と心理	言語理解の過程	日本語表現論A	○	◎			
		日本語表現論B	○	◎			
	言語習得・発達	教育心理学			○		◎
	異文化理解と心理	社会・文化(異文化の理解)			○	◎	
言語と教育	言語教育法と実習	日本語教材研究	○	◎			
		日本語教授法	○	◎			
	異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語教育実習(事前・事後指導含む)			○		◎
		文化発信D(グローバル・スタディ)			○	◎	
言語教育と情報	社会・文化(情報と社会)	◎	○				
	統計・情報(コンピュータ・リテラシー)	◎	○				
言語	日本語の構造	日本語文法入門A	◎	○			
		日本語文法入門B	◎	○			
		日本語概説A	◎	○			
		日本語概説B	◎	○			
		表現文法論A	○	◎			
		表現文法論B	○	◎			
	言語研究	日本語史A	◎	○			
		日本語史B	◎	○			
	コミュニケーション能力	英語F		○		◎	
英語G			○		◎		